

彫刻 校内にモニュメントを！ (抽象彫刻をつくらう)

概要	自己の思いや願いから発想・構想し、校内に設置するモニュメント（高さ2m）の1/20の模型を制作する。 ・「14歳の私」「私の未来」などのテーマから、自分の思いや願いにつながる主題を生成する。 ・主題から発想したイメージを単純化や省略、強調などで抽象化し、モニュメントの1/20の模型として構想する。 ・材料（スタイロフォーム）や用具の特性を生かし、立体としての塊や量感、動勢、重心などを工夫して構想し表現する。 ・他の人の作品を鑑賞し、作品に込められた思いや願い、表現の工夫などを感じ取り、話し合う。
評価規準	知形が感情にもたらす効果や立体感、動勢などの造形的な特徴や置かれた空間などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 技材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 発表したいイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、形や動勢、重心などを考え、心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を広げている。 鑑主体的に思いや願いのイメージを形で表すために構想を練ったり、意図に応じて表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 鑑主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【美術資料の活用】



岡本太郎 「子どもの樹」 P.130
「太陽の塔」 P.131



今日の美術 イサム・ノグチ
「ブラック・スライド・マントラ」 P.164



単純化・抽象化
形と色の探求 P.122・123

抽象彫刻の制作にあたっては、単に美しい形を考えるだけでなく制作意図を明確にするために、導入段階で既存のモニュメント（彫刻作品）の鑑賞を通し、作者の意図した形や置かれている場所との関係について着目させたい。

主題の生成にあたっては、P.26▶イメージマップの活用なども有効である。また、抽象化の方法の例示として、P.122・123▶単純化・抽象化「形と色の探求」ページが参考になる。

思考力 判断力 表現力
自分の思いや願いを具体的な形にするには？
具体的な形を、抽象的な形に表すには？



美のガイダンス 発想し、構想を練る1
(イメージマップなど多様な発想) P.26・27

知識/技能 意図した形をブロック状の材料から彫ったり削ったりする方法は？



木や石を彫る P.68・69

ブロック状の材料から形を彫り出す彫像の制作は、粘土などで制作する塑像に比べ難しく感じる生徒が多い。P.68▶制作メモ「材料の使い方」や木彫の制作段階②などを参考に、前後左右から見た形を各面に線描きしてから彫り始めることが大切である。

生徒は、どうしても端の方から部分的に仕上げてしまうことが多く、事前に「あら彫り→細部」の彫り進め方を確認するとともに、全体と細部の関係を繰り返し確かめながら制作するよう指導する。

■学習の流れ

段階	活動内容	指導者の働きかけ	評価	留意点及び評価方法など
導入 0.5時間	<ul style="list-style-type: none"> ○「モニュメント」とはどのようなものか考える。 ○P.130・131▶岡本太郎「太陽の塔」「子どもの樹」、P.164▶イサム・ノグチ「ブラック・スライド・マントラ」を鑑賞し、気付いたことをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○（発問）『モニュメント』って何だろう？とモニュメントについて問いかけるとともに、授業の概要を説明する。 ○モニュメントの制作意図と置かれている場所の関係について着目させる。 ・近隣の駅など、身近な場所にあるモニュメントについても話し合わせる。 	態鑑	【発言・ワークシートの記述】
展開1 1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> ○P.56・57▶発想し、構想を練る1を参考に、イメージマップなどを使い、イメージを膨らませ、置く場所を想定し、アイデアスケッチをワークシートに描く。 ○P.69▶抽象彫刻をつくらう 石彫を参考に、アイデアスケッチの具体的なイメージを抽象化してワークシートに描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の確認：「14歳の私」「私の未来」などのテーマから主題を生成し、校内に設置するモニュメント（高さ2m）の1/20の模型を制作させる。 ・実際のモニュメントの1/20の模型であることを意識しながら発想し、構想させる。 ・イメージからアイデアスケッチにつながりにくい生徒には、『WATCH2』や図鑑なども参照させる。 ○抽象化の指導について、P.122・123▶単純化・抽象化「形と色の探求」も参照させる。 	態表 発 知	【制作の様子・ワークシートの記述】 【アイデアスケッチ（ワークシート）】 ・イメージをどのような形で表現し、どこに設置するのか、制作意図とモニュメントの形や場所を関わらせて考えさせる。 （例）クラブで頑張った→流れる汗のイメージを体育館の前に読書が大好き→暖かで静かなイメージを図書館の横に
展開2 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ○P.69▶石けんを使って抽象彫刻をつくるを参考に、スタイロフォーム*をカッターナイフや彫刻刀で造形する。 ○大まかな彫りが終わったら、細部の仕上げを行う。 ・全体と部分の関係を繰り返し確かめながら制作を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○構想したアイデアスケッチをスタイロフォーム（10cm×10cm×15cm程度）のブロックに彫刻させる。 ・軽くて簡単に切削できるスタイロフォームの特徴を実演しながら説明する。 ・最初は前後左右から見た形を各面に線描きし、大きな面をとらえて削るように伝える。 ○作品の位置や見る角度なども確かめさせながら、計画的に彫り進めさせる。 	態表 技 知	【制作の様子】 【制作途中の作品】 ・カッターナイフや彫刻刀の使用にあたっては、安全指導を徹底する。 ・スタイロフォームは木工用ボンドで接着できるので、彫りすぎた場所の修正も可能である。
まとめ 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ○制作した作品を並べ、相互鑑賞する。 ○他の人の作品を見て、表現の工夫を感じ取る。 ○感じ取ったことについて意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や友人の作品を鑑賞し、よさや工夫した点などについて話し合い、プリントにまとめるよう指導する。 	態鑑 鑑	【鑑賞の様子】 【発言・意見交換の内容・制作記録の記述】

*スタイロフォーム：カッターナイフで簡単に切断できるなど加工性に優れたポリスチレンフォーム。発泡スチロールのように塵が出ることも少なく、立体や模型の制作に適している。アクリル絵の具などで彩色、木工用ボンドで接着も可能。ホームセンター等で断熱材として販売されている。（教材としても10cm×10cm×30cmのブロック状のものが500円程度で販売されている）

◆指導のヒント【メディア(写真)を使った発展的な学習】

- 導入：作品を設置する場所を撮影して明確にすることで、発想や構想を膨らませる際の手がかりとなる。
- 展開：導入時に撮影した写真をプリントやタブレットPCなどで表示し、その前に制作した作品を置き、作品を設置したときのイメージをつかんだり、形体やバランスを見直したりする手がかりにする。
- まとめ：P.97▶コンピュータを使って表現する「画像を合成しよう」を参考に、作品をカメラで撮影し、風景写真と作品を合成し、画面上で大きさや向きを変えることで、設置したときの表現の効果を確かめることができる。



コンピュータを使って表現する「画像を合成しよう」P.97

○さらに学習を深めるために



WATCH2(ウオッチ2)

定価650円(税込) A4判 | 66ページ | オールカラー

「こんな写真がほしい」「この部分をもっとアップで見せたい」という学校現場の声を生かした、イメージづくりに最適な発想資料集。美術の表現や意欲を引き出す写真・図版を約840点掲載しています。